

将来のライフプランニングを通して育成する批判的思考

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立社高等学校 富澤 廣平

本時の目標 ・ライフプランについて意見を交わし、様々な視点から資金計画を考えることができる。 ・金融商品の基本的な内容を理解し、資産形成について考えることができる。	校種・学年	高等学校・1年
	教科・領域	家庭
	アプリ・ソフト	・ロイロノート
	備考	

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○本時の学習目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ライフプランの選択による資金計画の違いを考え、資産形成について学ぶ。 </div> ○前時に作成したライフプランシミュレーターの代表的な例を提示する。 ◆ロイロノートを開いておくように指示する。
展開	○表示されたライフプランの貯蓄額が違う理由をまとめ、人生における三大資金を考える。グループごとに発表する。(グループ) ○資産形成について学ぶ。(個人) ○資産形成シミュレーターを活用して様々な利率について話し合う。(グループ) ◆机間指導をしながら、話し合いが出来ていないグループに声掛けをする。
まとめ	○ライフイベントによって資金の動きは変わることや批判的意識をもって考えることを確認する。 ◆資産形成に関するワークシートを授業後に提出するよう指示する。

育成できる情報活用能力

- ・複数の情報から問題を構造的に理解しようとする。
- ・情報の全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す。



育成できる情報活用能力

- ・課題に関係する情報を見つける。
- ・新たな視点を取り入れて検討する。
- ・物事を批判的に考察し判断する。



生徒の感想

- ・選択したライフイベントの違いで、こんなにも貯蓄額が変わることに驚いた。人生の三大資金を意識して、ライフプランを考える必要がある。
- ・資産形成について考えることができた。これからはお金に働いてもらうことも選択肢の一つだが、自分で判断する力を身につけなければならない。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・シミュレーター等を活用し具体的な事例を交えた授業展開をすることで、情報の特徴が捉えやすくなり、深い学びにつながる。
- ・比較、検討できる複数の情報を基に、批判的思考を取り入れた話し合いをすることで、多角的な視点で論理的に考える力を育成することができる。